

# 素描・PC実技研修報告

都立深川高等学校教諭 村上

## 1. はじめに

私が阿佐ヶ谷美術専門学校で行われる実技研修に参加するのは今回で2回目である。毎年恒例となっているこの講習を楽しみにしている先生方も多く、私もその一人だ。今年の研修は人体クロッキー・デッサン講座、Illustratorの基礎基本、ページデザインについて（文字のフォントの扱いや日本語独自のルール、雑誌の実際には出版されている雑誌のデザイン）の二つの講座だ。各々が希望する講座を受講することができる。一昨年度、私はIllustratorに基礎、基本についての講座を受講していたこともあり、今回私は午前中に人体クロッキー、午後に、Illustrator ページデザインについての講座を午前・午後と分けて受講することにした。どちらもとてもわかりやすくのびのびと受講することができ、とても充実した1日を過ごすことができた。私の受講した講座のみの内容となってしましますが、報告させていただきます。

## 2. 日程

期日 平成22年8月26日（木）

場所 阿佐ヶ谷美術専門学校

住所：166-0011 東京都杉並区梅里1-3-3

研修内容

- ・人体クロッキー・デッサン講座
- ・Illustrator ページデザイン講座

## 3. 人体クロッキー・デッサン講座

私は授業や美術部の活動の中に人体クロッキーを取り入れている。人体の構造を指導するにあたって、自分でもうまく説明できない部分もあり、教えるという立場にたって人体クロッキーを基礎から学びたいと思いこの講

座を選択した。

当日の参加人数は5人。一人のモデルに対してこの人数はちょうどよく、余裕を持ってイーゼルを広げることができた。初心者から経験者まで様々な先生の参加だった。

### 人体クロッキー時間配分

9:30-9:50 10分×2ポーズ

9:55-10:15 5分×4ポーズ

10:20-10:40 2分×10ポーズ

10:50-11:10 5分×4ポーズ

11:15-11:35 5分×4ポーズ

11:40-12:00 10分×2ポーズ

2時間で26ポーズ行った。久しぶりにじっくりとクロッキーに取り組むことが来た。

各自持参したスケッチブック、画材を使用してクロッキーを行う。私は事前に準備していたコンテ、竹ペンを使いクロッキーに臨んだ、他の先生方は鉛筆を使用していた方が多かった。午後のヌード・デッサンに向けての準備を意識した方がほとんどだったのではないと思う。途中、休憩をはさみ、先生に指導を頂いたおかげで人体のバランスが改善することができとても嬉しかった。また、資料として配られた人体の構造・クロッキーについてのプリントもわかりやすくおもしろかった。得た知識を生徒への指導に役立てていきたいと思う。

久しぶりに行う生徒としてのクロッキーはとても楽しく時間がすぎるのがとても早く感じた。ひとつだけ要望があるとすれば、他の参加者の作品も見たいということと、全体の講評を頂きたかった。私は午後、イラストレーターの講座に参加したため、後半のデッサンの講座がどのような状態か詳しいことはわからないが、後で知り合いの先生に作品を見せていただいたところ、じっくりと制作に取り組めたのだなと感ずることができ

良い作品だった。

普段忙しく、自分自身の作品に取り組むことができなくなってしまったこともあり、一制作者としてもとても有意義な時間になった。このような機会があれば是非また参加したいと思う。



#### 4. Illustrator ページデザイン講座

毎日のようにパソコンで仕事をしているが、Windows を使用している学校がほとんどである。個人的に Mac を使用している方は少なからずいらっしゃると思いますが、生徒に実践的に使う方法を指導する機会は少ないのではないだろうか。

この講座では最新の i Mac と Illustrator の使い方や新しい機能の紹介を基礎として教えていただきながら、実際の雑誌編集者の立場から考えるフォントのレイアウトや規則を学んだ。

午前の講座では i Mac の使い方の基礎を学ぶ。キーボードの解説、コマンドキーの使い方を知りながら、Illustrator の用途を学ぶ。最終的にパスとオブジェクトによって作ったイラストを入れた名刺作りの実技を制作したようだ。配布された資料もわかりやすくとてもためになるものであった。

午後の講座では実践的なページデザインの仕組みを実際に使用された雑誌のページをもとに学ぶことができた。私が松岡和彦先生の講座を受けるのはこれで2回目になる。実際のデザインの現場から見た現状や最新機器の紹介を交えながらの話はとても楽しい。(今回は電子書籍についての現状とこれからについての話がとても印象的でした。) 私は個人で i Mac を使用しているので午後からの講座の受講を希望した。

## 5. 雑誌編集におけるページレイアウトについて

Illustrator も使うことはできるが初心者であり、（使用しているものは古いもので、新しい機能に驚かされることも多かった）実際の雑誌の編集となるとほとんど知識はない。美術の先生方にもデザイン科からの出身や経験者でなければ、なかなか知る機会はないのではないだろうか。

特に雑誌編集における文字のフォントの扱いや日本語独自のルールは今回はじめて学ぶことができた。文字の入るボックスの大きさを考えながら、文字数や行間、フォントを考える。実際に使われた雑誌の1ページを元にして同じものを自分達でもレイアウトしながら学んでいった。文字のサイズの基本から入り、文字ボックスの計算の仕方、本文中の中身だし行送り計算、デザイン専門の方にとっては基本的な内容かもしれませんが、私にとっては初めて知ること、とても驚いた。最後に出来上がった記事を見ながら自分のいつも読んでいた雑誌について思い、感慨深かった。

今日、「デザイン」という言葉は色々な場所で使われるようになった。また、「デザインに関わる仕事」といっても私達が知る本や雑誌、建築だけではなく、デザインの分野は広がり続けている。私達が生徒達にデザインを教え、伝えるとき、基礎基本を教えることはとても大切なことであり、必要不可欠であると思う。それを得た上で、実際にデザインを生きる術としたいと思った生徒に“デザインにはどんな仕事があるのか、デザインとはどんな世界なのか”、少しでも教えてあげることができるようになりたいと思う。私達の仕事はある意味とても狭い世界であると言えるだろう。外の世界を伝えるためには私たちも外の世界を知らなければならない。今回の講座を受け、松岡先生の話聞きながらそんなことを思った。またこのような講座があれば是非参加したい。変化し続けるデザインの世界を巣少しでも見続けられればなと強く思う。



後半の講座に使用した雑誌の1ページ。

## 6. さいごに

この研修にあわせて、校内には阿佐ヶ谷美術専門学校の生徒の作品が展示されている。若い世代のパワーある作品を見るのもまたおもしろいものだ。（その中に自分の元生徒の作品を発見し同じ美術で頑張る姿を垣間見て嬉しくなる。）美術に対して厳しい目が向けられる昨今、難しいことも多々あると思うが伝統ある阿佐ヶ谷美術専門学校も是非頑張ってもらいたい。

工夫された講習、顔なじみの先生方との交流、楽しい時間はすぐに過ぎてしまうもので、あっというまの1日だった。なかなか外に出る機会も少ない中でこういった講習を開講してくれるのはとてもありがたい。一人教科であることが多い私たちにとっては色んな意味で貴重な時間である。紙面ではありますが、この講習を企画運営して下さった阿佐ヶ谷美術専門学校の皆様に厚く御礼申し上げます。